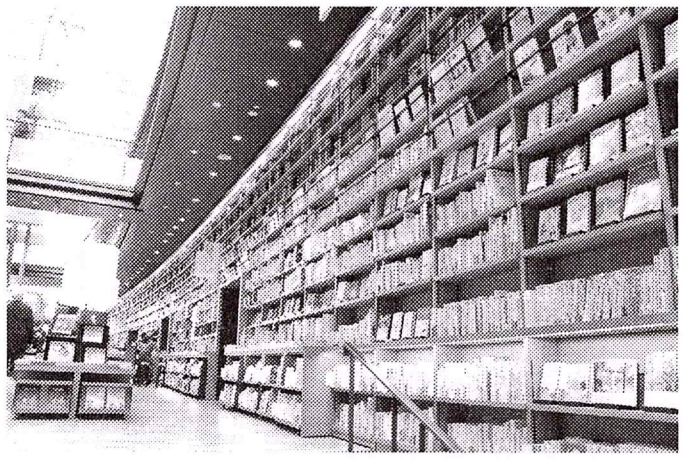
多賀城民報

第1230号
2019年11月29日

多賀城市同市教委

市立図書館は引き続きCCCに

― 11/26 多賀城市議会全員協議会で説明 ―



当局の説明によれば、今年7月29日に評価委員会で、図書館の指定管理者として「カルチャーコンビニエンスクラブ」（略称CCC）を「合格」と評価、8月27日の教育委員会で「非公募による選定」を決定し、10月1日の選定委員会において、現指定管理者であるCCCを次の指定管理者候補として選定し、10月29日教育委員会、11月5日行政経営会議で承認したといいます。

戸津川晴美市議は、評価委員（7名）及び選定委員（7名・当日1名欠席）の人選の基準等につき、「施設利用者代表4名を公募せず、なぜ教育委員会事務局が選んでいるのか、委員はなぜ図書の専門家ではないのか、市当局幹部6名も入っていれば市の意向に沿った結論になるのではないか」と質しました。

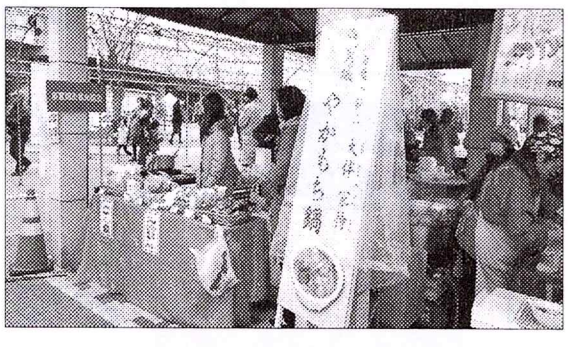
また同市議が「CCCからの実績報告書と企画提案書の資料によって委員のみなさんは判断したと思われるので、その資料を議会に提示すべきではないか」と迫ったところ、議場はシーンとしてしまいました。議会への資料は大まかな資料であり、到底指定管理者を選任できるような判断材料ではありません。令和2年から令和6年までの5年間で、14億3000万円ほどです。1年で3億円ほどの税金がつぎ込まれます。しかし図書費や人件費、光熱費などの内訳が一切示されていません。一人あたりの資料代がいくらか、貸し出し数など「議会にも提示すべき」との主張に、後日、提示することとなりました。

図書館職員体制については「館長・副館長・マネジャーがそれぞれ1名ずつ。社員8名、契約社員15名、パート職員37名の計63名の体制」と説明されました。また国家資格を持つ司書の待遇や身分に関しては、42名を配置しているものの、経験年数や多賀城の図書館経験年数など職員に関する詳しい資料について「指定管理でCCCの内部の事まで立ち入ることはできない」と答弁しています。多賀城市立図書館で働く司書さんが、どんな待遇で働いているのかを知って、問題があればCCCに提言することは、市当局の責任です。CCCに物が言えないという態度は問題です。

その他、十進分類法を採用していない、学習室（会議室）がない、入口の図書返却ボックスはいまだ設置していない、児童書コーナーで高い場所に本が並んでいる等々をこれまでも指摘してきましたが、以前改善されていません。また、佐藤恵子市議はCCCの企画提案（概要抜粋）には、基本方針として「図書館に来館するきっかけは何でもよい」という表現があることに、「こういう表現は適切か」と質しました。

日本共産党市議団、問題点を指摘

11月26日の全員協議会で多賀城市および多賀城市教育委員会は、次期多賀城市立図書館の指定管理にCCCを決定し、12月議会に提案するとの説明がありました。日本共産党市議団は評価委員と選定委員の公募や職員体制、学習室が無い問題等をただしました。



11月23日、第2回「たがじょう秋まつり」が、仙石線多賀城駅前で開催され、雨模様の中1万500人の参加で賑わいました。主催は、「たがじょう秋まつり開催連絡協議会（事務局：多賀城・七ヶ浜商工会）です。同時に開催された「しろのむらさきまつり」「ふれあいフェスティバル」「悠久の詩都（まち）あかり2019イルミネーション」（※点灯17～24時、期間1月11日まで）「たがじょう市民市」も多くの参加者で賑わいました。

日本共産党
多賀城市議団
多賀城市留ヶ谷一丁目11番23号
代表（364）3222
FAX（309）3910

◇弁護士による
法律相談

◇申込
電話で予約して下さい。
◇電話
364-3222
◇相談日
12月5日（木）
12月25日（水）
◇時間
午後1:30～
◇場所
旧阿部福商店となり塩釜県民の会事務所

◇議員による
暮しの相談

電話
・佐藤恵子議員
367-0182
090-2027-9884
・戸津川はるみ議員
090-7528-2075
・中田さだゆき議員
368-1338
080-1802-3524
・遠藤あきお議員
090-3980-6591
・藤原益栄前議員
368-6623
070-6497-6623

東風城月

「笹森なみ」さん。旧姓は「佐藤」。芳男さん道子さん夫妻の娘（次女）さん。現在47歳で看護師をしており名取が丘在住。大沼宗彦市議の後継として来年1月の市議選に挑戦する▼名取市は面積98・17平方キロメートルで人口は7万8796人。県内では人口・財政力ともに勢いのある自治体の一つである。市議会定数21人中、日本共産党の議席は小野寺美穂（5期）、大沼宗彦（3期）、齋浩美（1期）の3氏▼私は1979年に大学を卒業すると同時に日本共産党塩釜地区委員会に就職した。スカウトしたのは佐藤芳男さん。「中学校の教員になるために大学にきた」と断り続けていたがとうとう根負けしてしまった▼就職した頃、奥松島で党地区委員会の海水浴等の行事があった。遊んであげたことがあったか定かではないが「なみ」ちゃんは当時6歳。成長し看護師となり26年間務めてきた。現在は長町病院勤務。市議選は1月19日告示、26日投票▼なぜ名取市議選のことを書いているかって…。実は県議選の結果、私は党県委員会で働くことになった。その最初の仕事が名取市議選の応援。「なみ」さんの出身地域でも応援の輪を広げ何としても勝利を！起これ、名取に「なみ」の大ウェーブ！